

CHUOH TRY+ANGLE
 知っ得通信

2021年4月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.110

＜見えない問題を発見するために＞

コロナ2年目の春を、皆さんは、どう乗り越えていくのでしょうか。コロナの勢いが、どんどん増して、今や再び緊急事態宣言を出さなくてはならないまでの感染者数になっています。気を抜かず感染対策をしっかりとやり、しかし、昨年とは違う動きをぜひ、取ってください。小学生のイベント（理科実験教室等）を感染予防対策をしっかりとって、ぜひ5月に開催してください。

さて、今回は、問題を発見することについて書きたいと思います。

私たちが問題を発見する時のパターンは、2つあるのではないのでしょうか。1つは、何か異常を感じた。または、何か通常ではないことが起こった。まさに、目に見える問題が起こってしまった場合です。

この場合、問題を解決するための行動は、以下の順で行われるはずで

1. 問題の発見
2. 問題の正確な状況把握
3. 問題が起こった直接の原因の解明
4. 原因が特定出来たら、その原因の除去
5. 正常に戻ったかどうかのチェック
6. 問題が起こった間接的な原因の解明
7. 間接的な原因を除去するか避けるためのオペレーションの変更

このような手順を踏んで問題を解決し、同じような問題が起きないように、対策を立てます。そして、新しいオペレーションが定着するまで意識的に状況を見、新しいオペレーションを部分改善した方が良いかどうかを判断しながら行い続けます。

そして、2つ目の問題の発見は、目には見えないけれど、何か違和感があるなあと感じた時です。または、これはちょっと変だぞ！と思った時です。

この場合、まだ問題が表面化しているわけではないので、正確に言えば、問題の兆候、ないしは、このまま放置すれば問題になってしまう現象を発見したということになります。この場合、違和感のもとを探ることが必要です。つまり、違和感をもった要素を明確にするということです。

違和感を持つということは、前提として、正常な状態を暗黙のうちに設定しているのですから、この正常な状態を言語化することから始めます。そして、この正常な状態が崩れたら、どういう現象が起こるのかを考えます。

例えば、校舎の玄関の靴があまりにも乱雑に脱がれている状態を見て、違和感を持ったとします。この違和感を持つということは、校舎の玄関で脱いでいる靴は、整然とそろえてあるものだという前提があるということです（こういう暗黙の理想がないと、見えない問題は発見できません）。そして、暗黙の理想のようにないということは、校舎の生徒指導が不完全ではないのかと類推できます。更に、そこから生徒指導が不完全だということは、授業中の秩序がもしかすると壊れているかもしれないと想像できます。ということは、学習指導もしっかりできない状態かもしれないとなるわけです。その結果、退学者がこれから先、継続的に出てくるだろうと想像するのです。

2つ目の問題の発見は、この想像のプロセスを経て、ここから具体的な問題の発見につながっていきます。つまり、先の仮説（想像のプロセス）を実際の授業時間・休み時間を観察することで、検証します。もし、先のプロセス通りでなければ、ただ単に、生徒に「靴を脱いだら揃えて教室に入れ！」と指導していないだけということになりますから、その指導だけになります。

逆に、仮説通りであれば、1つ目の問題発見のプロセスを適用します。原因が、生徒指導・学習指導の意味ややり方を知らないということなのか、自分ではわかっているが、講師を指導することができないで、生徒に徹底できないのか、それともほかに要因があるのか、ここをしっかりと見極めて指導をしていきます。

私は、大概、校舎見学をする際、校舎の看板・玄関・トイレ・教室の掲示・責任者や講師の挨拶などをヒントに仮説を立てて、校舎を隅々まで観察します。

ぜひ、皆さんも見えない問題の発見につながる兆候（＝暗黙の理想から外れた現象）を見落とすことのないようにしてください。

【編集後記】

一般社団法人 日本教育コンサルタント協会（JEC）主催
 「JEC 学習塾経営セミナー」に中土井が登場します！

テーマ：「夏期講習での生徒増・売上増を達成する
 マル秘オペレーション、教えます」

◆ 5/23（日）東京 6/6（日）大阪

【参加費】 一般参加…6,000円（税込）お申し込み受付中です！

↓ 詳しいご案内はこちらから ↓

<https://management-brain.net/mbaseminar02/>

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.74

新学期が始まって、学習塾の塾生募集も一段落したようです。

例年この時期になりますと、今年の集客状況はどうかと尋ねられることがよくありますが、今年はまだ正確なところはよく分からないというのが実情です。

ただ、どうも奇妙なことが起こっているような気がしてなりません。

次の数字をご覧ください。経産省の「特定サービス産業動態統計調査」から1教場当たりの月末受講生数を算出したものです。

◆ 1 教場当たりの月末受講生数 (2021年2月は速報値)

	2019年	2020年	2021年
1月	112.0人	112.6人	109.8人
2月	102.5人	100.8人	102.9人
3月	95.3人	92.3人	—
4月	96.7人	88.0人	—
5月	97.5人	88.3人	—
6月	98.9人	92.4人	—
7月	104.1人	97.1人	—
8月	108.0人	103.0人	—
9月	108.7人	105.2人	—
10月	108.8人	106.3人	—
11月	108.9人	106.8人	—
12月	111.3人	109.0人	—

1月号でも触れましたが、邦人を乗せた武漢からのチャーター機の第1便が到着したのが1月29日、ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に帰港したのが2月3日、安倍首相が学校の休校を要請したのが2月27日。つまりはこの国の住民が、なにか得体のしれないものの恐怖に怯えだしたのは昨年2月でした。それを反映するかのように昨年2月末、受講者数が急に減少しています。保護者が子どもの入塾を控えたんですね。

以後は、ご覧の通りすべて前年割れ。最もひどかった5月末は前年同月比マイナス9.2人（マイナス9.4%）の88.3人でした。

それが今年の2月末は昨年どころか、わずかではあるにしても19年の2月さえ上回っています。

問題は、いまだコロナ禍の渦中であるにもかかわらず、どうしてこうした現象が生じたのか、またこれが4月の現時点まで継続しているのか、さらにはこの先、5月、

6月もそれが続いていくのか、でしょう。

増加現象が生じた原因についてはなんとなく見当をつけることが可能です。

第一は塾の側の募集が前倒しで始まったこと。

昨年1年間の塾の業績を見ると、大都市圏の高校受験中心の塾は、中学受験中心の塾に比べて厳しいものでした。理由は年度スタートの時点で、中学受験は早く終了するため募集も早めに始まったのに対し、高校受験は遅れて行われるので募集も遅れ気味になったことでした。例年通りのスケジュールとはいえ、運悪く、募集の時期と学校休校の時期とが重なったうえに、緊急事態宣言が追い打ちをかけたんですね。これでは集まるわけがありません。そうした危険に気づいた塾の側が今年は早めに手を打った、これがおそらく2月の増加の要因でしょう。そして、塾が動けば保護者も反応する。それが第二の原因だろうと思います。

では、そうした増加傾向が4月の現時点まで続いているのでしょうか。正確なところは分からないのが実情だとしても、わたしはおそらく、少なくとも現時点では「それなりに続いている」という印象を持っています。

正直に申し上げますと、根拠は全くありません。ただ、電話などで皆さんのお話を聞けば順風のところが多いうですし、また、この3月末までに廃業・転業した塾がかなりあるのではと推測しているからです。

市場内の塾が辞めれば当然、残っている塾はいわゆる「残存者利益」を得ることになります。残っている塾の教場当たりの塾生数は増えることになります。

こちらに関してもどのくらい転廃業したのか、正確なところはまだ分かりません。が、例えば明光ネットワークの決算短信を見ますと、昨年2月末時点で全国に1,529か所、85,090人の塾生を抱えていた明光義塾のFCが、今年2月末時点では1,404か所、塾生数75,935人になっています。125教場も閉じたんですね。生徒数にして9,155人が残っている他塾に移った計算になります。

じゃあ、これから先はどうかというと、残念ながらこの増加傾向はそう長くは続かないとわたしは見ています。

もう一度、数字をご覧くださいませしょうか。

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.74

◆月別の客単価 (2021年2月は速報値)

	2019年	2020年	2021年
1月	38,055円	38,932円	40,817円
2月	27,998円	29,102円	30,651円
3月	35,531円	35,975円	—
4月	32,299円	30,791円	—
5月	27,115円	23,818円	—
6月	28,959円	29,320円	—
7月	38,650円	37,852円	—
8月	44,914円	46,073円	—
9月	33,654円	34,111円	—
10月	30,438円	35,104円	—
11月	31,401円	34,300円	—
12月	44,969円	45,667円	—

同じ資料から算出した月別の客単価です。19年と20年とを比べてみてください。コロナ休校があった4月、5月と、学校の夏季休暇が削られた7月以外は、軒並み増加しています。塾が塾生減による売上減少をカバーするために、客単価の引き上げ策を講じたんですね。それがこの1月、2月まで続いています。おそらくは3月、4月も同様でしょう。

となると早晚、限界が来るのは間違いないでしょう。政府が大盤振る舞いしていた補助金や給付金や調整金のおかげでなんとかやりくりしていた人々の家計も限界に近づいています。客単価が高くなれば塾生数が減少に転じるのは当然でしょう。よくいって夏までとてばというところではないでしょうか。

なお、付け加えておくと、コロナ第4波、第5波の懸念もあります。子どもは感染しにくい、重症化しにくい、これが従来株の常識でした。しかし、変異型は別物だと言われています。感染力が強く、子どもであっても容易に感染するというこの変異型が日本国中蔓延し、特措法に基づく緊急事態宣言が出されるようなことがあれば、再び全国一斉学校臨時休校が求められるのはもちろんのこと、塾に対して休業命令が発せられる可能さえ否定できません。わたしはかなりその確率が高いと思っています。塾生数の減少どころの話ではありません。そんなことが起こった場合の準備だけはしておいていただきたいと思います。


PS・コンサルティング・システム
小林 弘典

ELST[®]

English Listening & Speaking Testing

AIがスピーキングを
自動採点・評価・アドバイスする
英語4技能対策アプリ

問題をチェック
画面に表示される内容や面接官が話す英語を聞く



発話で解答
自由発話形式や音読形式など、問題にあわせて解答



AIが採点・評価
AIが良くできた点、改善点を詳細に評価し学習アドバイス



納得してから
本格導入!

無料体験 ID 配布キャンペーン実施中!

右のQRコード、または下記URLからお申込みフォームへアクセスしてください。

<http://www.chuoh-kyouiku.com/elst/apply>

